

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	実習・演習2	
科目基礎情報					
開設学科	音響芸術科	コース名	レコーディングエンジニア専攻	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	180時間
単位数	6単位			授業形態	演習
教科書/教材	参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	倉本 淳二・伊藤 優子・篠原 麻梨		実務経験の有無・職種	有・レコーディングエンジニア	
学習目的					
下記到達目標を達成するために【実習1】で学んだ基礎知識をふまえ、各種機器・機材を熟知し、セッティングからレコーディングの実践、ミックスダウンに至るまでの各工程を順次学習する。					
到達目標					
アナログ卓とデジタル卓の違いを操作、仕組みともに理解していく。近年はProToolsを基本としたレコーディングシステムがスタジオの基本となっており、ProToolsとミキサー卓の繋がり方を理解しながら様々な音の流れを理解し、基本的な録音操作ができるようになることを目標とする。また、アーティストとのコミュニケーションを取りながらチームで作品を作っていく姿勢も学んで行く。					
教育方法等					
授業概要	各回のテーマに従って、レコーディングスタジオで実習を行う。				
注意点	テーマごとに教員が指導を行うが、実習において各学生が自主的に作業し学んでいくことが重要となる。 なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題				
	小テスト				
	レポート				
	成果発表 (口頭・実技)				
	平常点	100%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画 (1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	セッティング基礎1	ドラム録音ができる様にマイクを始めとするスタジオ機器のセッティングについて学習し実践する			
2回	セッティング基礎2	ベース・ギター・キーボード、ボーカル録音のセッティング方法を学習し、実践する			
3回	コンソールオペレート1	SSL9000Jセンターセクションの主な機能と操作方法を学ぶ			
4回	コンソールオペレート2	SSL9000J I/Oモジュールの主な機能と操作方法を学ぶ			
5回	セッティング3	4リズム録音のセッティングを実践、スムーズに行えるように練習			
6回	セッティング4	4リズム録音のセッティングを実践、反復練習。経験値アップ			
7回	コンソール/D A Wオペレート1	簡易的なレコーディングを行いながら9000J及びPROTOOLSのオペレートを始めレコーディングをスムーズに行う為の知識、心構え、コツを学ぶ			
8回	コンソール/D A Wオペレート2	簡易的なレコーディングを行いながら9000J及びPROTOOLSのオペレートを始めレコーディングをスムーズに行う為の知識、心構え、コツを学ぶ、反復練習			
9回	マイクロフォン・応用	マイク毎の音質の違いを体験し、何故何種類ものマイクが必要なのかを知る			
10回	ボーカルダビング1	ボーカルダビング作業を行う上で必要な知識を学習する			
11回	ボーカルダビング2	ボーカルダビング作業を実践。実際のレコーディング作業を行いながら作業をスムーズに、確実に行う為に必要な事を経験・学習する			
12回	ボーカルダビング3	ボーカルダビング後に行う「エディット作業」について学習し実践する			
13回	バンドレコーディング1	バンドレコーディングを行う、レコーディングの経験値をアップさせ、スムーズに作業できるように			
14回	バンドレコーディング2	バンドレコーディングを行う、レコーディングの経験値をアップさせ、スムーズに作業できるように			
15回	ミキシング	録音した音源を用いてバランスをとる・エフェクターを駆使して音を作る等、「ミキシングとは何なのか」を学ぶ			